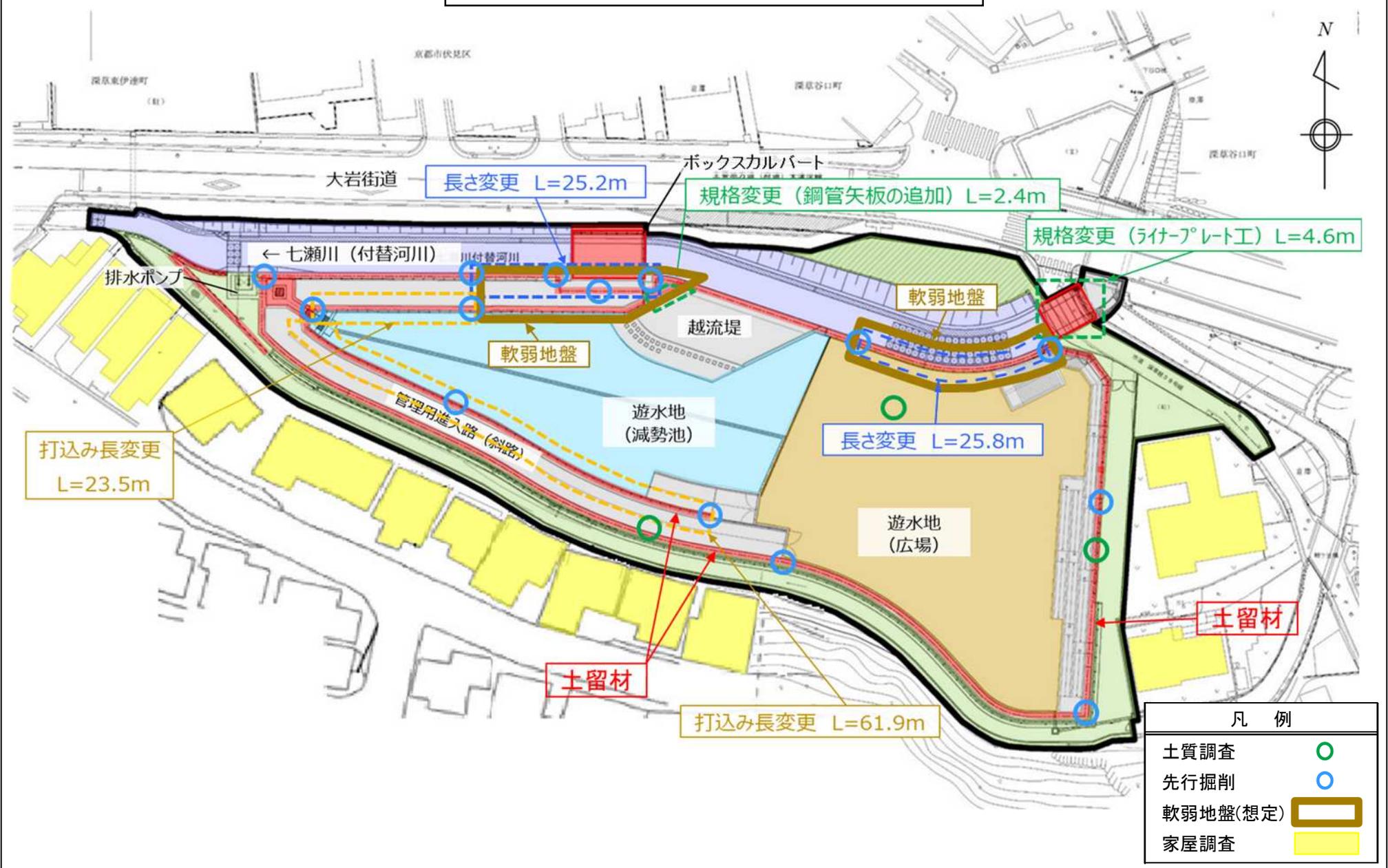


一級河川七瀬川遊水地整備工事に係る資料について

1. 3箇所土質調査の地点
2. 管理用進入路の土留材の作業内容変更
3. 交通誘導警備員の配置場所
4. 契約変更の金額内訳

1. 3箇所の土質調査の地点

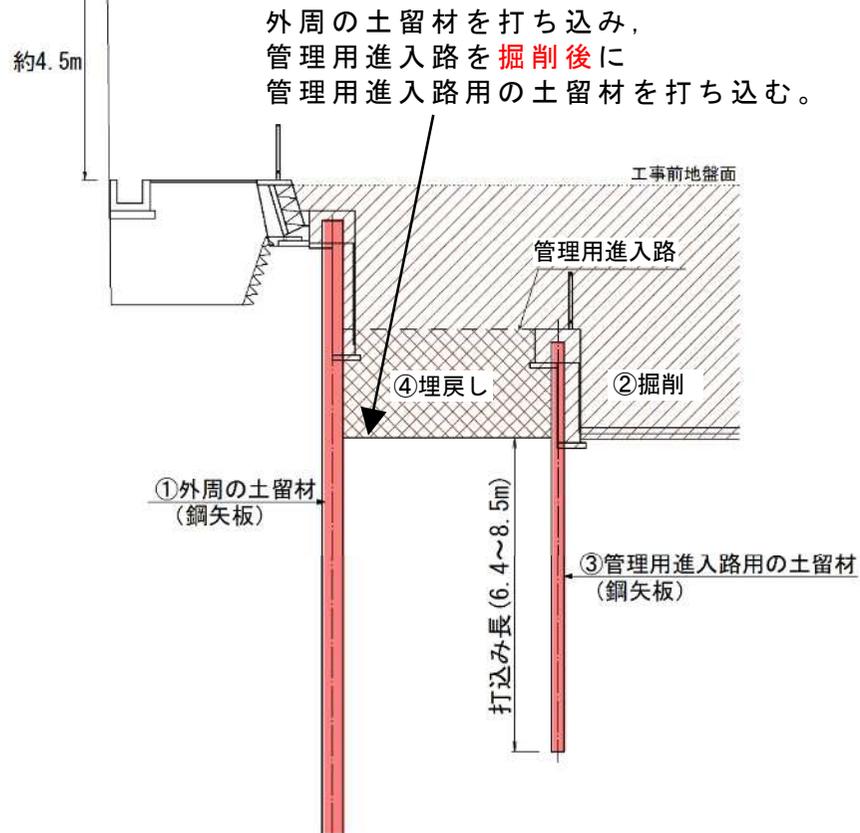


凡 例	
土質調査	○ (緑)
先行掘削	○ (青)
軟弱地盤(想定)	■ (茶色)
家屋調査	■ (黄色)

2. 管理用進入路の土留材の作業内容変更

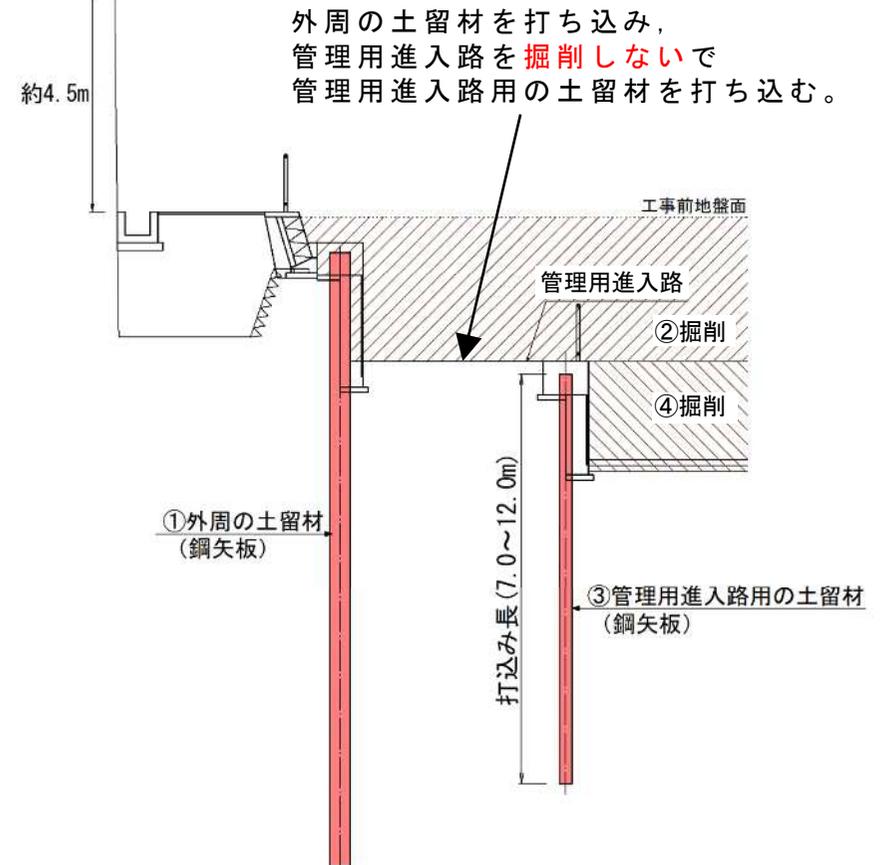
当初

- ① 外周の土留材の打込み
- ② 地盤面を池底の高さまで掘削
- ③ 管理用進入路用の土留材の打込み
- ④ 管理用進入路の埋戻し



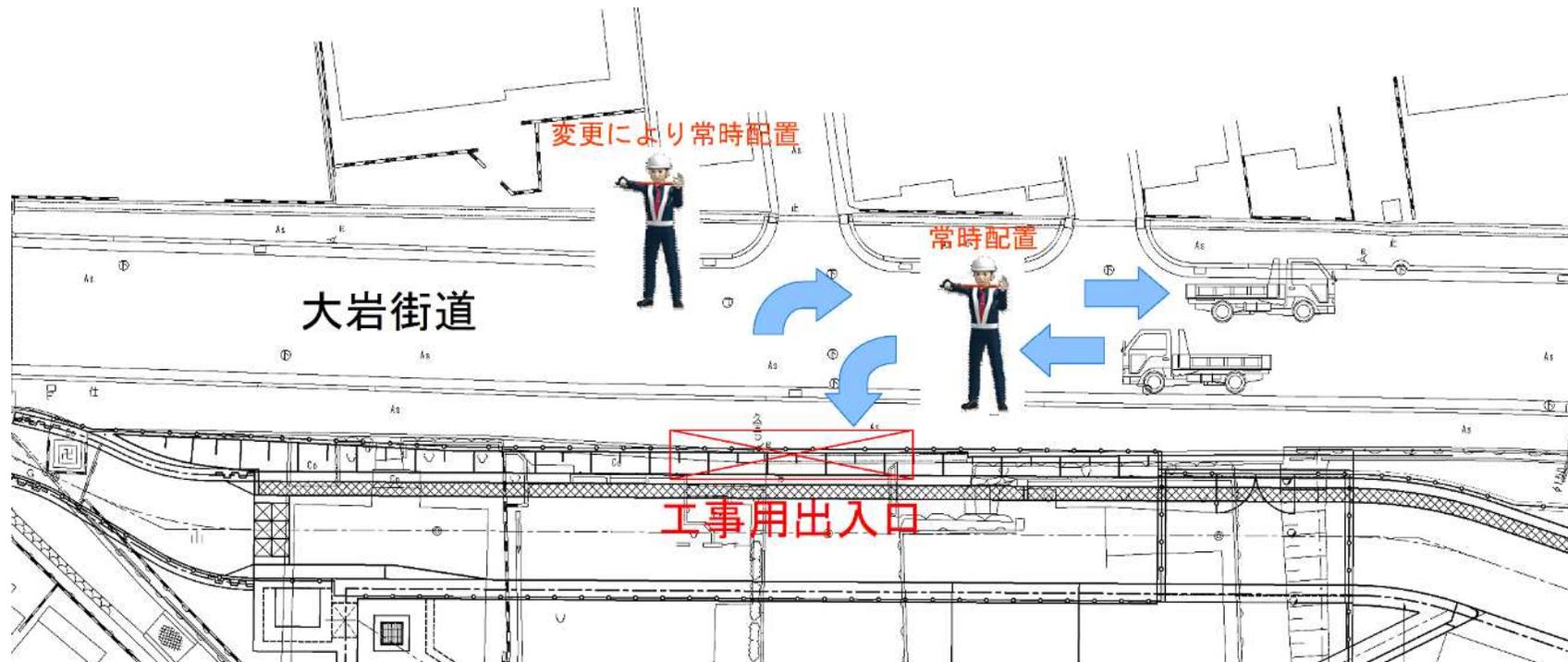
変更後

- ① 外周の土留材の打込み
- ② 管理用進入路の高さまで掘削
- ③ 管理用進入路用の土留材の打込み
- ④ 池底の高さまで掘削



3. 交通誘導警備員の配置場所

交通誘導警備員については、当初、施工現場の出入口に常時1名を配置し、工事車両の出入りが多い作業日は、1名を追加して合計2名配置としていたが、工事着手に当たり周辺道路の渋滞回避、安全確保のため、施工現場の出入口に常時2名の交通誘導警備員を配置する必要が生じた。



4. 契約変更の金額内訳

① 土留材の仕様変更に伴うもの

細別	変更の理由	変更額(円)
土留材の仕様変更 (外周の土留 ほか)	想定より軟弱な層が確認され、鋼矢板が自立しないことが判明し、仕様変更したもの ①鋼矢板長さを変更したもの:86枚 ②鋼管板から土留材の規格を変更したもの:4セット(鋼管矢板3セット+ライナープレートエ1 セット)	30,905,000
作業方法の見直し (管理用進入路)	隣接家屋への影響を少なくするため、作業方法を見直したものの 鋼矢板の掘削深さを増やしたもの:190枚	7,277,000
合計(土留材)		38,182,000

② 交通誘導警備員の配置変更に伴うもの

交通誘導警備員の増員	1,123人→1,680人	8,258,900
総合計		46,440,900